



PLUS ULTRA

富キャン Express

Vol.24



～ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ～ 白鷺大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

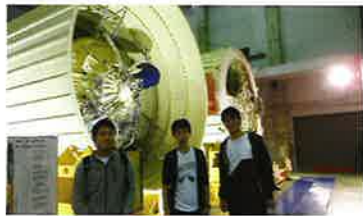
富田校舎2年生修学旅行 近代日本の歩みと平和を学ぶ (九州・大阪・京都6日間)

教頭 中戸 康平



11月6日、1日目。トランプ大統領
領米日のため都内に厳重な警戒体制が敷かれている中、全日空機にて鹿児島へ。そのままバスで薩摩藩ゆかりの地を見学。薩摩藩と言えば近代日本への扉を開いた幕末の雄藩の一つ。その中心となった西郷隆盛は、西南戦争に敗れ自刃を余儀なくされたが、座右の銘にしていた「敬天愛人」の言葉そのままに、誰を恨むでもなく最後まで恬淡としていたそうです。ちなみに来年の大河ドラマは「西郷どん」とのこと。

2日目は、三つのコースに分かれての体験学習の日。種子島コースの生徒達、とりわけ宇宙少年、宇宙少女達は、日本最大のロケット発射場と言われる宇宙センターをわくわく気分で見学。屋久島コースの生徒達は、雨の中、5メートル下の底まできれいに見える川での力ヌー体験と、熱帯魚の泳ぐ真つ青な海でのシュノーケリングに挑み大満足。鹿児島コースの生徒達は、知覧特攻平和会館で平和学習。「特攻として知覧から



種子島H-IIロケットの前で

飛び立ち、富士山に似ている開聞岳に別れを告げると、沖縄までの飛行時間は約2時間半。出撃後は、この短い時間が自分と与えられた生涯最後の時間。特攻機に乗り込む時、二度と父や母や愛しい人に会えなくなる。二度と大地を踏むことが出来なくなる。こう思うと地面から足が離れる瞬間が辛かった。「語り部の方が若き特攻隊員達の出撃の時の思いをこのように語ってくれ、生徒達は目に涙を浮かべながら真剣に聞いていました。

3日目。九州新幹線で熊本へ移動。前方遠くに普賢岳の見える熊本から島原半島までのフェリーの甲板では、乗客の与える餌を求めて飛来して来る白いカモメ達が、我々白鷺に特別の親近感を覚えたのか、他の乗客の人達の周りよりも多く集まって来ていたような気がしました。島原から長崎市内に移動し昼食。昼食後は日本の近代化を支えた世界遺産の島、軍艦島の見学をしました。生徒の日ごろの行いが良かったのか、年間ベスト14日に入るという好天に恵まれ、かつて賑わいを見せた炭鉱の島に無事上陸。生徒達はガイドさ

んの説明を聞きながら約1時間、往時を偲ばせる島の様子を興味深そうに見学しました。夜は、レストランで豪華ディナーバイキングを満喫した後、「世界新三天夜景」と言われる長崎の美しい夜景を見てホテルへ。
さて4日目。先ず今回の修学旅行の最大の目的である長崎平和公園での平和学習。慰霊碑に生徒達が心を込めて折った千羽鶴の奉納と献花をし、続いて原爆で亡くなった7万4千人の方々に哀悼の意を表して1分間の黙祷を捧げました。今年の7月に念願の核兵器禁止条約が採択されたのにもかかわらず、全核保有国とアメリカの核の傘の下にある国々は、唯一の被爆国日本も含めて不参加を表明。このような中、今年のノーベル平和賞を「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」が受賞したことは世めてもの救いとなったような気がします。全員の生徒が厳粛な態度で臨んだ平和学習の後は、生徒達待望の別行動。路面電車などを利用して中華街、グラバー邸、浦上天主堂などを思い思いに巡り、坂の街長崎の散策を楽しみました。この後九州に別れを告げ、福岡空港



長崎平和公園にて

から飛行機で大阪へ移動。夜、道頓堀でお好み焼きを腹いっぱい食べてホテルへ。
5日目。この日は、ほぼ1日、たっぷりUSJで遊びました。1時間待ち、2時間待ちもなんのその、生徒達は（先生達も）、こなしアトラクションの数を競い合いながら楽しんでいました。
11月11日、6日目。いよいよ最終日。昨日と打って変わって、この日は京大訪問と北野天満宮参拝という超勉強モード。自由な学風で知られる京都大学では、16のグループに分かれて広大な敷地に立ち並ぶアカデミックなたたずまいの校舎を京大生の案内で見学し、大学受験の体験談なども聞きました。今回の訪問をきっかけに、「そうだ、京大に行こう！」と京大入学に意欲を燃やす生徒が出てくることを期待したいと思います。その後、修学旅行の締めとして、菅原道真を学問の神として祀る北野天満宮をお参りし、学力向上と来年の志望校合格を真剣に祈願して、5泊6日のスケジュールを全て終了。京都発午後1時35分の新幹線で無事東京に帰ってきました。
楽しい思い出をたくさん作ることも出来た今回の修学旅行でしたが、大切な学習も数多く体験して来ました。とりわけ平和学習からは、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを学びました。次の時代を担うことになる生徒達がこの学びを生かして、テロも戦争もない今の日本の平和をいつまでも守っていつくくれることを願って終わります。

修学旅行 九州・大阪・京都6日間

11月6日から5泊6日の日程で、修学旅行が実施されました。

例年になく盛りだくさんの内容の修学旅行は生徒の心に強く印象に残るものとなりました。以下は、生徒の感想です。



北野天満宮参拝



長崎・眼鏡橋にて

思い出深い修学旅行 特別選抜コース2年2組 大塚 南奈(旭中)

5泊6日の修学旅行は、世界遺産に触れたり、平和について考えたり、貴重な体験がたくさんできた、思い出深いものになりました。

鹿児島では、屋久島に行き、シュノーケリングとカヌーを体験しました。世界自然遺産に登録されている屋久島で、岩場に群がる珍しい魚を見たり、豊かな自然の中でカヌーに奮闘したりした経験はどれも新鮮で楽しかったです。

長崎の平和公園では、私は生徒代表として献花をしました。厳肅な気持ちになり、次世代を担う私たちが平和についてもっと考えなければならぬと感じました。

また、長崎では世界文化遺産である軍艦島にも行きました。廃墟を目の当たりにし、移りゆく時代のはかなさを感じました。しかし、瓦礫の中に咲いていた花が印象的で、記憶に残っています。



軍艦島に上陸



屋久島でのシュノーケリングの様子

大阪で訪れたユニバーサルスタジオジャパンでは、アトラクションに乗ったり、大きなクリスマスツリーの前で写真を撮ったり、友人たちとの絆を今まで以上に深めることができました。

最終日には京都大学にも行きました。学生さんにキャンパスを案内してもらったり、勉強方法を教えてもらったり



ユニバーサルスタジオジャパンにて

して、来年の受験への意識付けにもなりました。多くを体験し、さまざまなことを考え、素敵な思い出もたくさんできた修学旅行でした。それらの二つを大切にしていきたいです。

平和について

進学コース2年3組
上岡 明日歌(藤岡二中)

修学旅行で、私は鹿児島県の知覧特攻平和会館と長崎県の爆心地や原爆資料館を訪れました。

原爆資料館では原爆投下後の風景写真や模型で、その被害の大きさを目の当たりにしました。午前11時2分を指したまま壊れた時計や溶けて塊となったガラス瓶を実際に見たときは、あまりの生々しさに言葉を失いました。

しかし、それ以上に私の心に衝撃を与えたのは、知覧特攻平和会館で見た資料の数々です。その多くは特攻隊員が家族や友人、恋人などに宛てた手紙でした。私にはある特攻隊員の手紙にあった「笑って征きます。」という文が忘れられません。どのような気持ちで書いたのかと考えると、ただ涙が零れるだけでした。また、特攻隊員の中には、今の私たちと変わらない年齢の人もいました。その人が歩むはずだった幸せな日常や未来を



長崎・開聞岳をバックに

一日体験学習

8月26日・27日に、一日体験学習が開催され、栃木県内外の多数の中学校から、2000名を超える中学生や保護者の方々が来校しました。

シーガルホールでは、生徒会の生徒による、学校紹介のプレゼンテーションが行われ、授業の様子や学校行事が紹介されました。また、教頭先生から学校の教育方針が語られました。

各教室では、教科毎に工夫を凝らした模擬授業が開講され、実践的な授業体験が行われました。外国人講師との英会話体験する「英語体験Tour!」、小説から少年の揺れる気持



評論の読解



砂蒸し風呂体験

います。戦争を体験した人が少なくなっている今、私たちが戦争について正しく学ぶことが大切です。

今の私はまだ知識が浅く、理解できないこともたくさんあります。しかし、今回感じたことを決して忘れず、継続して平和について考えていきたいです。そして当たり前に日々を過ごせることに感謝し、自分がすべきことに努めたいです。



フェリーにて鶴の餌やり



針金で書道

18歳になったら選挙に行こう!

受講後のアンケートには、「授業が分かりやすく、先生方がとても熱心だった」、「校舎が綺麗で在校生の対応が親切だった」など多数の意見が寄せられました。

第23回合唱祭
感動に包まれた
シィガルホール

11月17日に第23回富田校舎合唱祭がシィガルホールで開催されました。約140名の保護者が鑑賞する中、課題曲の「願い事の持ち腐れ」と、各クラスそれぞれの自由曲が披露されました。生徒たちはこの日のために朝や放課後も練習に励んできました。どのクラスもその成果が十分に発揮され、会場は美しいハーモニーに包まれました。特に自由曲では、各クラスが個性豊かで工夫を凝らしたパフォーマンスを披露し、クラスの一体感が感じられるものとなりました。



最優秀賞(進学コース1年4組)



優秀賞(進学コース1年2組)

- 第23回 合唱祭 結果**
- 最優秀賞** 進学コース1年4組
 - 優秀賞** 進学コース1年2組
 - 最優秀指揮者賞** 進学コース1年4組 関根 珠希さん(大泉西中)
 - 最優秀伴奏者賞** 進学コース1年4組 松島 汐李さん(新里中)

た。また、第二部として、石井道康さんによるミニコンサートも行われました。三線の演奏と歌で、沖縄の雰囲気を感じ、貴重な経験ができ、思い出に残る一日になりました。

一学年 大学見学

11月7日、1年生の恒例行事である大学見学が実施されました。今年の上智大学、中央大学、東京工業大学から、希望する大学をそれぞれ訪問しました。生徒たちは、富田

中央大学学校説明

最優秀伴奏者賞の松島汐李さん

最優秀指揮者賞の関根珠希さん

上智大学

東京工業大学

中央大学

合唱祭を終えて
進学コース1年4組
齋藤 夢見(明和中)

合唱祭当日の朝、私はとてもさみしい気持ちになりました。毎日練習してきた曲を、クラスの皆と歌えるのも今日が最後なのだと思っただけです。高校生活最初で最後の合唱祭、私たちのクラスには

「全員で楽しみ、最優秀賞を獲得」という目標がありました。練習は大変でしたが、みんなで意見を出して納得するまで話し合い、切磋琢磨することで、最高の形で本番を迎えることができました。

当日はたくさん保護者にご来校頂き、会場は満席でした。どのクラスの発表も素晴らしく、一生懸命歌う姿にクラスの絆を感じました。私は、これまで協力してくださった先生方と一緒に頑張ってきた仲間への感謝の気持ちを胸に、練習してきた日々を思い起こしながら歌いました。この合唱祭は私にとって最高の思い出になりました。困難もみんなで乗り越えてこれたことを誇りに、これからの学校生活も精一杯頑張っていきたいと思えます。たくさん経験や感動をありがとうございました。

訪れた生徒も、充実した施設や意欲的な学生さん達の姿に感銘を受けていました。今後の学習への意欲向上に繋がる貴重な経験となりました。

富田校舎 体育祭 2年ぶりの開催

10月3日に富田校舎体育祭が行われました。去年は3年に一度の富田校舎祭が行われたため、2年ぶりの開催となりました。そのため1年生、2年生にとっては初の体育祭となりました。

3年生にとっては最後の大きな行事ということもあり、楽しい思い出を作ろうという雰囲気がいひしと伝わってくるようでした。そのような思いから、夏休み前から皆で楽しめる新競技をつでも加えたい、と要望が出るほどでした。そこで生徒会は全学年から意



クラスリレー

見を募集したり、意見を集約したりと準備段階から十分な熱の入りでやりました。結果として、生徒のみならず、先生、保護者も無理なく参加することが出来る「借り物競争」が正式競技として加わることになりました。また、体育祭当日は雨が懸念され、前日、前々日から延期の心配がされていまして、しかしそんな生徒達の思いが通じたのか、当日の朝には雨は止み、前日までの雨で程よくグラウンドが湿り最高のコンディションとなりました。

入場行進から始まり、個人競技の100M走、障害物競争、山勘レースなど例年通りの盛り上がりでグラウンド中に笑顔があふれていました。新競技「借り物競争」では、グラウンドの隅から重いローラーを転がしてくる生徒、教頭先生やPTAの保護者を連れてグラウンドを走る生徒、また、借り物の役となった生徒に追い抜かれてゴールする生徒までいて、グラウンドのあちこちから笑いを耳にすることが出来ました。すべての人が参加する競技、という生徒の思いは



パン食い競争



全力で綱引き

叶ったのではないかと思います。もちろん、目玉は例年通りクラスの威信をかけたクラスリレーです。予選の段階から選手たちだけではなく、自分のクラスを応援する生徒達も真剣そのものでした。ぎりぎりの攻防で転倒するクラスもあり、例年になく皆力が入っていました。接戦のクラスリレーを制したのは進学2年4組でした。また、近年クラスリレー同様の盛り上がりを見せるスウェーデンリレーを制したのは進学3年2組でした。さらに今年度は閉会式



女子全員でダンス



障害物競争

にてサブライズがあり、クラスリレー優勝チームには校長賞としてマクドナルド食事券、スウェーデンリレー優勝チームには理事長賞としてデイズリゾート招待券が送られ、大きな盛り上がりを見せました。

平成29年度 富田校舎体育祭 結果

総合	優勝	進学コース2年4組
	準優勝	進学コース2年2組
	第3位	進学コース1年3組
学年	第1学年 優勝	進学コース1年3組
	第2学年 優勝	進学コース2年4組
	第3学年 優勝	進学コース3年2組

生徒会役員としてはじめて携わった体育祭。一言で言ってしまうと、その準備、実行は本当に大変でした。しかし、私はこの経験は大変貴重な素晴らしいものだったということが出来ます。

みんなの思いをひとつに
生徒会副会長
進学コース3年4組
山口 慶喜(大東中)

私が初めて体育祭に参加したのは、1年生の時。まだ生徒会に関わっていなかったときでした。そのときは、開催にあたっての生徒会や実行委員会、先生方の努力に気づくことすらできませんでした。しかし、今回自分が体育祭を計画、実行する立場になってみると、今まで気づくことが出来なかった「楽しむ」の思いを作ることが出来た。という皆の思いに気づくことが出来ました。

体育祭の開催に協力してくれ、この経験をさせてくれたすべての人にこの場を借りて心からの感謝を伝えたいと思います。



富キャンExpress vol.24 題字の右側のカモメの口は富田キャンパス文芸サークル同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress係
発行 白鷺大学足利高等学校富田校舎
足利市多田木町1067
電話 0284-91-26603
制作 足利印刷株式会社
発行 平成30年1月5日